

『庄内っこ日和』 もりのこっこ年少（秋）五月山公園でハイキング&自由あそび

令和3年11月24日 庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のもりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。
 この『庄内っこ日和』は、令和元年度から掲示用として始めた、当学園の理念や方針と重ね合わせながら、園外保育での子どもたちや先生の様子を、皆様にお伝えする“ドキュメンテーション”です。
 晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。
 このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。今回は、年少組もりのこっこ（秋）五月山公園をハイキングの様子をお伝えしたいと思います。

今回のねらい: 自然の中を散策しながら、自然物に触れたり集めたりして遊ぶ。

当幼稚園の「もりのこっこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。

能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川、自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。

そこで子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験をします。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っています。(庄内の保育の根っこp37参照)

紅葉に囲まれ
自由あそび

ハイキングの後は、自由あそび！この時期の五月山は、秋を感じられる自然に溢れていました。子どもたちは、木のみを拾って、フライパンに入れ、「チャーハンとらーめんいりませんか？」「僕は店長です」とラーメン屋さんになりきって遊んでいました。製作遊びでは、小石や落ち葉など、さまざまな自然物をホットボンドで段ボールに貼って楽しんでいました。それぞれのアソビを展開できた一日でした。



山の景色は
最高の
思い出

五月山公園に着いて、すぐにハイキングスタート！こどもたちは、元気よく歩いていました。今回は、ハブニングがあり、大量のスズメバチと遭遇しました。すぐに予定ルートを変更し、被害はありませんでした。こどもたちも「いっぱい飛んでたなー。」と驚いている様子でした。これも自然で出来る良い経験です。秀望台という絶景スポットまで、自分たちの足で歩ききったこどもたちは、「やっほー」と声を出したり、座ってゆっくり風景を見ていました。景色は、最高の思い出となったのではないのでしょうか。

